

(5) 定例会の質問事項

① 平成29年飯田市議会第1回定例会一般質問通告表

平成29年3月7,8日

No.	氏名	項目・要旨
1	井坪 隆 (会派みらい)	1 飯田文化会館の建て替えについて (1) 市長の公約に「文化会館の建て替えに際して検討を進める」とあるが、新・飯田文化会館(仮称)の建設について検討しているか (2) 広域連合のインフラ整備に関する基本方針には、コンベンションセンターの整備が盛り込まれているが、市長の公約とは関連するか (3) 建設するとした場合、建設費をどの程度と見込んでいるか (4) ホールを有する文化施設(飯田文化会館)の在り方についての協議を、今後どのように進めていくか
2	竹村 圭史 (会派のぞみ)	1 飯田市のごみ袋について (1) 燃やすごみの袋の大きさについて ① 現在の規格(材質および大きさ)は、どのような考え方で決められたか ② 稲葉クリーンセンターの運用開始に伴い、ごみ袋の規格をどのように考えているか ③ 介護や育児を行っている市民からは、現在の小袋よりさらに小さなサイズを望む声があるがどうか (2) 飯田市の燃やすごみ、プラスチック製容器包装、埋立ごみ、資源ごみ、それぞれの袋について ① すべての市民に対して判別しやすくなっているか ② 稲葉クリーンセンターの運用開始を機に、すべての市民が判別しやすい規格を考えてみてはどうか
3	吉川 秋利 (会派のぞみ)	1 JR飯田線乗換新駅について (1) 新駅設置の目的は何か、またどのような効果を考えているか (2) 設置に関する経費負担をどのように考えているか (3) リニア中央新幹線との結節はどのように考えているか (4) 今後どのように進めていくか 2 教育課題について (1) コミュニティスクールについてどのように進め、定着を図るか (2) ICT教育についてどのように進めるか (3) 英語教育が小学校3年から取り入れる方向性が示されたが、問題と対応は (4) 小中連携・一貫教育の課題についてどのように考えているか
4	福沢 清 (会派みらい)	1 長野県人口異動調査に伴う人口減少、とりわけ「社会減」をどう捉えるか (1) 飯田市として「社会減」についての分析はどうか (2) 「社会増」にむけての政策は 2 まちなか観光について (1) まちなか観光の現状はどうか (2) まちなか観光の振興策は
5	熊谷 泰人 (会派のぞみ)	1 スポーツ振興について (1) 「長野県中学生期のスポーツ活動指針」策定後の市内の中学校運動部活動の現状は (2) スポーツ施設・アリーナ建設に向けての取り組み状況は (3) 川路多目的広場の芝生化を行い、サッカー・ラグビーなどスポーツ合宿の受け入れを行うことで、天龍峡温泉交流館との連携が図れると考えるがどうか

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	熊 谷 泰 人	<p>2 公共施設マネジメント基本方針について</p> <p>(1) 第一段階としての優先検討施設である文化・生涯学習施設の検討状況について</p> <p>① 文化会館ほか、2つの市民ホールについて、現在の検討状況は</p> <p>② 31年度までの3年間の詳細な検討スケジュールは</p> <p>3 鳥獣被害対策について</p> <p>(1) 猿害の現状と対策は</p> <p>4 いいだ未来デザイン2028について</p> <p>(1) 市民への広報用として、子どもから高齢者までが、目で見て理解できるよう、12年後の「8つの目指すまちの姿」のアニメーションを制作してはどうか</p>
6	山 崎 昌 伸 (会派のぞみ)	<p>1 学習指導要領改定案について</p> <p>(1) 改定案の骨子は何か</p> <p>(2) 飯田市の学校教育において、改定案から見えてくる課題をどのように捉えているか</p> <p>(3) 課題に対し、どのように対応する考えか</p> <p>2 ふるさと納税について</p> <p>(1) 平成28年度実績の見込みは</p> <p>① 寄付額と、返礼品の仕入れ他の経費の内訳は</p> <p>② 寄付の目的の内訳は</p> <p>③ 返礼品の内訳は</p> <p>(2) ふるさと納税の制度に対する市の考え方は</p> <p>① 現在の考え方はどうか</p> <p>② 将来の方向性はどうか</p> <p>(3) 返礼品のもつマーケティング機能は発揮されているか</p> <p>① 分析、検証はされているか</p> <p>② 返礼品を選ぶ際には、マーケティング機能も考慮に入れているか</p>
7	森 本 政 人 (市民パワー)	<p>1 地域医療の充実における市立病院の役割について</p> <p>(1) 医療と介護の連携における市立病院の果たす役割は</p> <p>(2) がん拠点病院としての機能と役割は</p> <p>(3) がん診療の実態は</p> <p>① 飯田下伊那診療情報連携システム(ism-Link)の活用は</p> <p>2 介護支援専門員について</p> <p>(1) 市内に介護支援専門員は何人いるか</p> <p>(2) 介護支援専門員の現状は</p> <p>(3) 資格更新手続きの現状と課題は</p> <p>3 この地域のシードル振興の取組について</p> <p>(1) シードル振興の取組の現状は</p> <p>(2) シードル特区の現状は</p> <p>(3) 取組への支援の考え方は</p>
8	木 下 容 子 (市民パワー)	<p>1 子どもの貧困対策について</p> <p>(1) 全国的に子どもの貧困が大きな問題となっているが、飯田市の状況はどうか</p> <p>(2) まずは実態把握が必要だと考えるが、実態調査を行う考えはあるか</p> <p>(3) 現状の課題をどのように捉え、対策をどのように展開していくか</p> <p>(4) 飯田市として子どもの貧困対策のための計画策定の考えはあるか</p> <p>2 子どもの福祉医療費給付事業について</p> <p>(1) 福祉医療費給付事業窓口無料化について、どこまで検討しているか</p>

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	木 下 容 子	<p>(2) 国では窓口無料化の対象を未就学児までとしているが、飯田市の方針はどうか</p> <p>(3) 子どもの貧困対策として、貸付制度を有効に活用する考えはあるか</p>
9	古 川 仁 (日 本 共 産 党)	<p>1 飯田市の子育て支援について</p> <p>(1) 就学援助の現状と今後の対応は</p> <p>① 新入学児童・生徒への援助費は</p> <p>② 国の基準が引き上げられたが、市の対応は</p> <p>(2) 子ども・障がい者医療費窓口無料化の考えは</p> <p>① 国・県の動向を踏まえ、市としての対応は</p>
10	小 倉 高 広 (日 本 共 産 党)	<p>1 新焼却施設の運用開始に伴う燃やすごみ袋代の引き下げについて</p> <p>(1) 新しい焼却施設の運用開始で、燃やすごみ袋代の引き下げは可能か</p> <p>① 飯田市の燃やすごみ袋代は他市町村と比べ高いが、その理由は何か</p> <p>② 新しい焼却施設の運用開始で、1kgあたりのごみ処理費用はどう変わるか。それにより燃やすごみ袋代は安くないか</p> <p>③ 一袋あたりのごみの処理費用を市と市民が1/2ずつ負担するという方式は、どのような理由によるか</p> <p>(2) 「ごみの有料化」はごみの減量やリサイクル事業にどのように貢献したか</p> <p>① 「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」では、ごみの処理及び清掃に関する地方自治体の責務はどのように規定されているか</p> <p>② 「ごみの有料化」によって、ごみの減量化やリサイクル事業はどのように進んだか</p> <p>③ 「ごみの有料化」の検証はどのようにされているか</p> <p>(3) ごみ出しが困難な高齢者に対する対策はどのようにするか</p> <p>① ごみ集積場の設置基準を緩和する考えはあるか</p> <p>② いいだ未来デザイン2028戦略計画に集積所までのごみ運搬が困難な世帯に対する支援の拡充を図るとあるが、どのように行うか</p>
11	村 松 まり子 (公 明 党)	<p>1 発達障がい児・者への支援の充実について</p> <p>(1) 改正発達障害者支援法に伴う市の取組みについて</p> <p>① 法改正を市としてどのように捉えているか</p> <p>② 改正された発達障害者支援法の具体的な対応は</p> <p>ア 第2条の発達障害者における社会的障壁とは何か</p> <p>イ 第5条の児童の発達障害の早期発見の観点から、保護者への情報提供、助言についての取組みは</p> <p>ウ 第8条の教育の観点から、個別の教育支援計画及び個別の指導計画の策定と今後の取組みは</p> <p>エ 関係機関間の相談支援体制の整備は</p> <p>(2) 障がい児・者への理解を深めるバリアフリー教育を推進してはどうか</p> <p>(3) 災害時の発達障がい児・者への支援について</p> <p>① 避難所開設時の障がい児・者受け入れ態勢は</p> <p>② 災害時における発達障がい児・者の特性への理解、支援体制は</p>
12	林 幸 次 (公 明 党)	<p>1 市長の市政経営方針について</p> <p>(1) 若い人が帰って来られる産業づくりについて</p> <p>① 「地域経済活性化プログラム」による経済振興策の成果や課題は何か</p> <p>(2) 誰もが住み続けたいと思う地域づくりをどう進めるか</p>

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	林 幸 次	(3) リニア・三遠南信自動車道の開通を見据えた飯田ブランドの確立について <ul style="list-style-type: none"> ① 飯田ブランドとして何を売りにするか (4) 国際学術研究機能を有する「小さな世界都市」の具体像は何か 2 リニア時代を見据えた中山間地域の振興について (1) 中山間地域振興計画の取組みについて <ul style="list-style-type: none"> ① 計画策定後8年を経過したが、進捗状況はどうか ② 各地区の基本構想・基本計画や地域の要望が反映されているか (2) 若者の地方定住化を推進する「地域おこし協力隊」について <ul style="list-style-type: none"> ① 地域おこし協力隊員の活動状況及び評価はどうか ② 地域おこし協力隊員の定住・定着のための支援策は (3) ツアー・オブ・ジャパン南信州ステージについて <ul style="list-style-type: none"> ① 今年で12回目を迎えるが、継続開催に向けた取り組みはどうか
13	湯 澤 啓 次 (会派のぞみ)	1 年頭所感「イノベーションが起こる地域社会の創造に向けて」について (1) 「いいだ未来デザイン2028」との関係は <ul style="list-style-type: none"> ① これからの地域社会におけるイノベーションとは何か ② 「百人による一歩」の革新とは ③ 飯田市が地方創生の全国モデルとして果たすべき役割とは (2) 地域社会におけるイノベーションの創発にマーケティングの古典であるイノベーター理論の応用について <ul style="list-style-type: none"> ① 庁内横断プロジェクトにイノベーター(革新者)を活用する考えは ② 誰もがイノベーターに成りえる「飯田版イノベーションサイクルの構築」の考えは 2 リニア中央新幹線関連事業の取組みについて (1) リニア駅周辺整備区域に隣接するエリアの土地利用計画は (2) リニア関連事業に伴う市道整備計画は (3) 代替地対策の進捗は (4) 市長の「住民に寄り添う」方針はどこまで共有されているか
14	新 井 信 一 郎 (会派のぞみ)	1 山岳・里山の観光事業について (1) 現在取り組まれているポイントは (2) 課題認識は (3) 今後課題解決にどう取り組むか (4) 飯田市のシンボルの一つである風越山(かざこしやま)の保全及び活用状況は (5) 南アルプスについて <ul style="list-style-type: none"> ① 市道142号線の工事進捗状況は ② 今後の対応は ③ 国立公園であるが故の利活用は (6) 南アルプスジオパーク、エコパークについて <ul style="list-style-type: none"> ① 市民の認知度は ② 周知と利活用の取り組みは ③ ユネスコスクールへの取り組みは考えられないか (7) 伊那谷、県、国との連携は <ul style="list-style-type: none"> ① 伊那市商工観光部世界自然遺産登録・エコパーク・ジオパーク推進室発信のメールやFB(フェイスブック)の積極的登録は考えられないか ② 中央アルプスエリアにおいてもジオパークへの取り組みがされつつあるが、連携は考えられないか

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	新井 信一郎	<p>③ 長野県観光部山岳高原観光課は、『世界水準の山岳高原観光地づくりの推進』を行っている。市との連携は</p> <p>④ 統合型リゾート施設(IR)整備推進法案が成立した。観光や運輸関係者からは、2020年東京五輪・パラリンピック以降にも、インバウンド(訪日外国人客)需要がつながるといった経済効果に期待を込める声が聞かれるが、リニア開通に向け研究してはどうか</p> <p>2 市民協働事業推進の手法は</p> <p>(1) 現在の取り組みの主体は誰か</p> <p>(2) 市民の健康増進と併せた新しい市民協働の活動支援を考えられないか</p> <p>(3) 空き家のリノベーションを推進し、地域にカフェや図書館等整備し、中山間地域における振興として田園回帰を目指せないか</p> <p>3 子ども基本条例(仮)への取り組みは</p> <p>(1) 「子どもの健全育成」の観点から、非行対策や有害環境からの保護はできているか</p> <p>(2) 「子育て支援」の観点から、子育てに不安を持つ親などの支援はできているか</p> <p>(3) 「子どもの権利」の観点から、子どもの権利は守られているか</p> <p>(4) 大人が果たすべき役割を明確にし、子どもの権利を守り、家庭・地域・学校などの中で、子どもが育成できる条例制定が必要ではないか</p> <p>4 三遠南信サミットから見る飯田市の将来は</p> <p>(1) 鈴木康友浜松市長は、「県境という行政の境ではなく、現代における繋がりある地域連携こそが時代の要請である」と発言した。その発言に対し、市長の考えは</p>
15	清水 可晴 (市民パワー)	<p>1 平和行政の推進について</p> <p>(1) 満蒙開拓平和記念館に行幸啓としてお立ち寄りになられた両陛下のご訪問をどう受け止めたか、また、平和行政の推進について市長の思いは</p> <p>(2) 平和教育の推進にあたり、今以上に満蒙開拓平和記念館を活用する考えは</p> <p>2 工業振興について</p> <p>(1) サイエンスパーク構想の全体像は</p> <p>(2) 台湾新竹サイエンスパークへの視察を検討する考えは</p>
16	後藤 荘一 (日本共産党)	<p>1 市財政について</p> <p>(1) 平成28年度の決算見込みはどうか</p> <p>① 歳入の見込みは</p> <p>② 歳出は予算に照らしてどうか</p> <p>③ 起債や基金残高の状況はどうか</p> <p>(2) 平成29年度の予算案の特徴的なことは</p> <p>① 予算要求時の歳入歳出の額はどうか</p> <p>ア 編成過程は示せないか</p> <p>② 今後の起債や基金の見通しは</p> <p>③ 地域の厳しい経済状況下で、市民の暮らしを守る予算となっているか</p> <p>(3) 新年度から新総合計画がスタートするが、中長期の市財政フレームを示しているか</p> <p>2 雪害対策について</p> <p>(1) 市が除雪する路線外の通学路の除雪を行うか、又は支援ができないか</p> <p>3 リニア中央新幹線について</p> <p>(1) リニア駅の乗降客数の目的別内訳は。また駐車場台数の見込みは</p>

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	後 藤 莊 一	<p>(2) 駅周辺整備による立ち退きや土地建物等の取得に対する補償の考えは</p> <p>(3) 市内の残土置き場候補地に関し、地権者の意向はどうか。また下流域など周辺の住民の意見は</p> <p>(4) 市内の地下走行区間上の地権者への説明は</p>
17	永 井 一 英 (公 明 党)	<p>1 急速に進む少子高齢化・人口減少社会にあつて</p> <p>(1) 「いいだ未来デザイン2028」を策定するに当たって、12年先の財政見通しをどのように立てたか</p> <p>(2) 市民生活の様々な場面で、市が行ってきた事業と実態との間にそごが生じ始めていると感じるが、どう対応するか</p> <p>① 例えば、地域住民による公園の管理、街路樹の落ち葉清掃などの実態はどうか</p> <p>② 該当する事業の洗い出しを行ってはどうか</p> <p>③ 市長は、将来を見据えて様々な実態をどのように認識し今後どのように対応しようと考えているか</p> <p>(3) 市が進めてきた市民生活に関わる事業の中には、さらに拡大していく必要に迫られる取り組みもある。例えば、救急医療情報キット、子ども医療費の窓口無料化についてはどうか</p> <p>(4) 厚生労働省が「我が事・丸ごと」地域共生社会実現本部」を立ち上げたと聞く。市の認識は</p> <p>(5) 市長は、「地域共生社会」の意図するところをどう考えるか</p>
18	清 水 勇 (会 派 の ぞ み)	<p>1 自然エネルギーの利活用について</p> <p>(1) 太陽光発電について</p> <p>① 市内の太陽光発電の普及率と概ねの発電量の把握はしているか、また公共施設での発電量と使用状況はどうか</p> <p>② 農地、山林等への設置について市はどのような対応をしているか</p> <p>③ 災害対策、環境対策の考えは</p> <p>④ 太陽光発電の取り組みの検証と今後の進め方をどのように考えているか</p> <p>(2) 小型小水力発電について</p> <p>① 小型小水力発電について現状稼働している箇所はどこか、また発電量、使用状況はどうか</p> <p>② 今後計画している所はどこか、また使用目的発電量の予定はどうか</p> <p>③ 検証と今後の進め方をどう考えているか</p> <p>2 天龍峡再生事業について</p> <p>(1) 今までの整備状況と今後の取り組みについて</p> <p>① 天龍峡温泉交流館の状況と誘客の考えは</p> <p>② 天龍峡テニスコートの使用状況はどうか</p> <p>③ 今後整備をして誘客につなげる考えは</p> <p>3 中山間地域振興計画について</p> <p>(1) 地域振興住宅の現状と利用者の状況について</p> <p>① 今後の取り組みをどのように考えているか</p> <p>② 市以外の他町村では、長期的運営方法を決めているが飯田市はどうか</p>

② 平成29年飯田市議会第2回定例会一般質問通告表

平成29年6月12,13日

No.	氏名	項目・要旨
1	福 沢 清 (会派みらい)	1 公契約条例について (1) 飯田市は3年前、公契約条例の必要性を認めたが現在も同じ認識か (2) 公契約条例の実効性について検討結果はどうか (3) 今後、公契約条例の制定に向けた飯田市の考えは 2 住宅セーフティネット法について (1) 住宅セーフティネット法とは (2) 飯田市での「住宅セーフティネット法」の生かし方は ① 住宅確保要配慮者の飯田市の実態は ② 法律と地方自治体の関連は ③ 今後どのように飯田市で生かしていくか
2	福 澤 克 憲 (市民パワー)	1 ふるさと納税と総合計画の推進について (1) 平成28年度の実績について ① 飯田市への寄附金の総額と件数は ② 寄附金に対しての返礼品等に関わる経費は ③ 市民の他自治体への寄附金の総額と件数は (2) 国の制度を受けての市の考え方について ① ふるさと納税の理念とは ② 税法上はどのような仕組みになっているか、また住民税等への影響は ③ ふるさと納税制度の課題はあるか ④ 平成29年6月1日にスタートした20地区応援隊とはどのような仕組みか (3) 今後の方向性について ① 「いいだ未来デザイン2028」に基づく、地域と行政が一体となったさらなる取り組みは ② 地域住民に目を向けた、飯田市独自の政策は考えられないか
3	小 林 真 一 (公明党)	1 いいだ未来デザイン2028の戦略計画における「若者が帰ってこられる産業づくり」について (1) 目標設定の考え方はどうか ① 学卒者の地域内回帰、定着率目標を設定した根拠は何か ② 目標に対して指標値が右肩下がりにならないための方策はどうか (2) 信州大学航空機システム共同研究講座の設置に伴う地元の小・中・高生へのアプローチについて ① 信州大学航空機システム共同研究講座と社会人スキルアップコースの現状はどうか ② オープンキャンパス等の展開は (3) 子供たちの進路選択、また人材育成に力を入れることを踏まえ、現在任意の色覚検査を全ての児童に実施をしてはどうか 2 市民意識調査結果について (1) 防災意識と備蓄食料について ① アンケート結果から市民の防災意識を向上させるための方策をどう考えるか ② 行政で管理している備蓄食料の管理方法等はどのようにしているか

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
4	木 下 徳 康 (会 派 の ぞ み)	<p>1 公共工事の地産地消</p> <p>(1) 地元業者、地元産資材の優先利用について</p> <p>① 現状と発注者としての市の取組みは</p> <p>② 地元産資材の利用について</p> <p>ア 蛇籠(フトン籠)の施工例は</p> <p>イ 施工時の業者・資材等、地元は優先されたか</p> <p>③ 今後の取組について</p> <p>ア 地元産資材を優先するシステムを構築できないか</p> <p>イ 県の仕様書等を参考にできないか</p> <p>2 稲葉クリーンセンター稼働に向けて</p> <p>(1) 9月1日に向けた進捗状況は</p> <p>(2) 燃やすごみの指定袋について</p> <p>① 新しい燃やすごみ指定袋の準備状況はどうか</p> <p>② 広告収入について</p> <p>ア 現行の紙袋掲載の広告収入額は</p> <p>イ その広告収入は市民に還元されているか</p> <p>ウ 新しい袋の広告掲載はどうするか</p> <p>(3) ごみ出しが困難な方への対応について</p> <p>① 現状をどのように把握しているか</p> <p>② どのような対策をとっているか</p> <p>③ ごみ出しボランティアに対する支援策は</p>
5	新 井 信 一 郎 (会 派 の ぞ み)	<p>1 下水道事業について</p> <p>(1) 第一次飯田市下水道事業経営計画の進捗状況はどうか</p> <p>① 長寿命化・耐震対策はどうか</p> <p>(2) 平成7年飯田市下水道整備基本計画により「市民皆水洗化」をそれぞれの事業手法により普及に努めてきたが、現在新たな土地利用に伴い見直しが必要ではないか</p> <p>① 農振地域と工業用地の近接による不便はないか</p> <p>(3) ゲリラ豪雨などの発生や水利用の減少による河川の氾濫に対する雨水渠等の対応は</p> <p>2 公共工事の入札制度について</p> <p>(1) 最低制限価格設定は</p> <p>① 設定はあるか</p> <p>② その根拠は</p> <p>③ 今後の考えは</p> <p>(2) くじによる落札者の決定は</p> <p>① 現状は</p> <p>② 集中する理由は</p> <p>③ この現状を良しとするか</p> <p>④ 今後の考えは</p>
6	湊 猛 (会 派 の ぞ み)	<p>1 市営住宅の運用について</p> <p>(1) 長野県住宅供給公社へ管理委託してからの運用についての課題は</p> <p>① 市営住宅の入居及び空室状況は</p> <p>② 市営住宅を取り巻くコミュニティに関する課題等に迅速に対応できているか</p> <p>③ 長野県住宅供給公社と担当課との関わりは</p> <p>(2) 遠山地区の市営住宅に関する課題について</p>

No.	氏名	項目・要旨
	湊 猛	<ul style="list-style-type: none"> ① 独身住宅・若者住宅と位置づけているが入居希望者との間にミスマッチが生じている点についての考えは ② 若者定住を促進するためには条例の改正が必要と思われるがどうか ③ 今後移住者向けに希望者が下見できる「モデルハウス」を設置する考えは ④ 遠山地区で取り組む「田舎へ還ろう戦略」事業での住宅の利活用をどう考えるか
7	熊谷 泰人 (会派のぞみ)	<p>1 市議会議員選挙の開票事務について</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 開票作業はどのように行われたか <ul style="list-style-type: none"> ① 作業員の体制及び事前説明は ② 開票作業の流れは ③ 開票所の責任者及びチェック体制は (2) 4月市議選での開票速報について <ul style="list-style-type: none"> ① 今回の開票速報は、速報とはほど遠い実態であった。なぜ、このような事態が生じたか ② 午後11時(開票率87.5%)での速報と11時20分(開票率95.8%)での速報で候補者によっては得票数に極端な差があったが、該当する候補や支持者にはどのようなストレスを与えたと考えるか (3) 正確な開票作業を行うには、作業の流れや速報の出し方など、現システムの再検討が必要と考えるがどうか (4) 信頼の回復のためにも、選挙管理委員会として集計作業が遅れた原因など市民への説明と謝罪が必要と考えるがどうか <p>2 管理不全空き家の対策について</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 市役所に隣接する箕瀬地区、大通り地区の状況について <ul style="list-style-type: none"> ① 特定空家、準特定空家の状況は把握できているか ② 「飯田市空家等の適正な管理及び活用に関する条例」による所有者への指導状況は ③ 「緊急安全措置」を実施した事例はあるか (2) 解体費用への補助制度の検討状況は
8	岡田 倫英 (会派のぞみ)	<p>1 リニア長野県駅周辺における用地取得について</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 市として、現在の進捗は順調か (2) 移転対象者、移転候補先を地権者など関係者同士でスケジュール感を共有できているか <ul style="list-style-type: none"> ① 先々の手順、行程を分かりやすく示す必要があるが、現状は ② 代替地登録制度に応じてくれた方との意思疎通は <p>2 人形とけい塔「ハミングパル」の改修について</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 現在あるとけい塔の課題は <ul style="list-style-type: none"> ① より親近感が高まるモニュメントにすべきでは ② より維持管理をしやすい構造にできないか (2) 寄附を呼びかけているが、目標金額に到達する見通しは
9	湯澤 啓次 (会派のぞみ)	<p>1 IIDAブランド推進について</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) IIDAブランドとは何か <ul style="list-style-type: none"> ① IIDAブランドを推進する目的は ② 「世界」と「若者」をターゲットにした具体的戦略的展開は ③ 市民参画をどう進めるか ④ 庁内の取り組み体制は (2) 各分野でのIIDAブランドの推進は

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	湯 澤 啓 次	<ul style="list-style-type: none"> ① 市田柿、南信州牛、焼肉に加え、シードル等の地元酒については ② 飯田発祥グリーンツーリズムの更なる進化、インバウンドへの対応は ③ 世界に向けた飯田水引ブランドの推進は <ul style="list-style-type: none"> ア 2016東京オリンピック招致ロゴのデザイン精神の継承は イ 水引をモチーフにした第2市章の考えは <p>2 リニア駅周辺整備デザイン、基本設計について</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 「世界に一つのリニア駅周辺整備」の認識は <ul style="list-style-type: none"> ① リニア駅周辺整備基本計画策定で浮かび上がった検討すべき課題はなにか <ul style="list-style-type: none"> ア IIDAブランドを感じられる基本設計は イ 若者定住の視点をどう基本設計に取り込むか ② リニア駅周辺整備におけるデザインの重要性をどう考えているか <ul style="list-style-type: none"> ア (仮称)デザイン検討会議とは何か、具体的にどう進めていくか ③ 今後の進め方については <ul style="list-style-type: none"> ア 基本構想のコンセプトを実現する進め方は イ 市民参画、イメージ共有についてどう取り組むか ウ 計画策定に地元関連企業と連携する考えは
10	村 松 まり子 (公 明 党)	<ul style="list-style-type: none"> 1 命を守る自殺予防への取り組みについて <ul style="list-style-type: none"> (1) これまでの自殺予防対策の結果と検証は (2) ゲートキーパー養成講座の内容は (3) 教育現場における自殺予防の取り組みは 2 教育環境の改善について <ul style="list-style-type: none"> (1) 小中学校の暑さ対策の取り組みは (2) 学校施設のトイレの洋式化について <ul style="list-style-type: none"> ① 排せつの重要性をどう捉えているか ② トイレの洋式化の現状と課題は ③ 今後の取り組みをどう考えているか 3 道路・橋梁の長寿命化について <ul style="list-style-type: none"> (1) 道路・橋梁の点検と長寿命化の取り組みの現状は (2) 路面下の空洞化の危険性についての認識は (3) 路面下の空洞調査を実施してはどうか
11	清 水 優 一 郎 (会 派 の ぞ み)	<ul style="list-style-type: none"> 1 市議会議員選挙の投票率にみる市政関心度について <ul style="list-style-type: none"> (1) 今回の市議選を通して行政に対する関心をどう捉えたか (2) 低下傾向にある投票率の現状は <ul style="list-style-type: none"> ① 全体の特徴は ② 地区別の特徴は ③ 年齢別の特徴は (3) 市政に対する市民の関心度を高めることが投票率を上げることにつながると考えるが、今後どう取り組むか <ul style="list-style-type: none"> ① より投票しやすい工夫は ② 若い人たちの関心を高めるための工夫は 2 こどもを産み育てやすい環境づくりについて <ul style="list-style-type: none"> (1) 平成28年度市民意識調査問24の結果をどう捉えているか (2) 出産、不妊に関する現状の取り組みは (3) こどもを産みやすい環境づくりのための今後の対応はどうか

No.	氏名	項目・要旨
12	木下容子 (市民パワー)	<p>1 次期学習指導要領の移行措置について</p> <p>(1) 次期学習指導要領が実施されるに当たり、文部科学省から移行措置が公表されたが、それはどのようなものか</p> <p>① 移行措置はいつから始めるか</p> <p>② 移行措置の内容はどのようなものか</p> <p>③ 移行措置のための授業時数はどの程度増加し、それをどう確保するか</p> <p>(2) 短期間での移行は、児童生徒の負担増にはならないか</p> <p>(3) 現在でも教員の過重勤務が問題視されているが移行措置の実施は、さらなる負担増につながらないか</p> <p>2 食品ロス削減のための取り組みについて</p> <p>(1) 飯田市における食品ロスの現状はどうか</p> <p>(2) 食品ロス削減のための活動をどのように取り組んでいるか、また、今後どう取り組むか</p> <p>(3) 30・10(さんまる いちまる)運動など、他地域での取り組みを参考にできないか</p> <p>(4) ロスしてしまう食料をフードバンク等へ寄付するシステムを構築できないか</p>
13	塚平一成 (会派のぞみ)	<p>1 魅力発信及び都市間交流の推進について</p> <p>(1) 市民による20地区の魅力発掘及び発信活動について</p> <p>① 各地区での取り組みをどのように把握しているか</p> <p>② 地域の魅力発信活動に対して市としての協力体制をどのように考えているか</p> <p>(2) 他都市との市民交流の促進について</p> <p>① 首都圏における市民の地域間交流の現状は</p> <p>② 飯田市や20地区の認知度向上に寄与する市内外の協力者を「市民交流大使(仮称)」に任命する制度を提案したいがどうか</p> <p>2 地域福祉計画について</p> <p>(1) 計画の周知について</p> <p>① 市民へより幅広く周知する必要があるがどうか</p> <p>② 市民に計画のポイントをわかりやすく説明できる仕組みをどう考えるか</p> <p>(2) 計画の方向性について</p> <p>① 関連する他の計画との位置づけは</p> <p>② 幼児期からの情操教育こそ地域福祉の根源とと思うがどのように考えるか</p>
14	後藤荘一 (日本共産党)	<p>1 土砂災害特別警戒区域について</p> <p>(1) 飯田市内の指定箇所数は</p> <p>(2) 対策に対する指導は</p> <p>(3) 指定地の対策を講じるための援助はあるか</p> <p>(4) 防災の観点からも、支援を拡大する考えは</p> <p>2 リニア中央新幹線について</p> <p>(1) 市内の残土置き場候補地の状況は</p> <p>① 地権者の意向は</p> <p>② 下流域など周辺の住民の意見は</p> <p>③ 安全性の調査は</p> <p>(2) 市内の地下走行区間の地権者への説明は</p> <p>(3) 駅周辺整備について</p> <p>① 用地、建物等固定資産の買取予定価格は</p>

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	後 藤 莊 一	<ul style="list-style-type: none"> ② 計画段階での事業費の概算は ③ 本事業実施に当たって財源は
15	古 川 仁 (日本共産党)	<ul style="list-style-type: none"> 1 飯田市の新しいごみ袋について <ul style="list-style-type: none"> (1) 新しいごみ袋は、いつ頃からの販売か (2) 大量の在庫が発生すると考えるが従来のごみ袋の流通状況は (3) 9月の焼却場切り替え前に新しいごみ袋で出された場合の対応は
16	山 崎 昌 伸 (会派のぞみ)	<ul style="list-style-type: none"> 1 20地区「田舎へ還ろう戦略」について <ul style="list-style-type: none"> (1) この戦略を実効性のあるものとするために、どのように進めていく考えか <ul style="list-style-type: none"> ① 「田園回帰1%戦略」との関連は ② 各地区が担う役割は何か ③ 市が担う役割は何か (2) 地区指定のふるさと納税制度の課題は何か <ul style="list-style-type: none"> ① 各地区の取組の現状は ② 寄附金額の見込みは ③ 地区による偏りへの支援策は 2 地域で歌い継がれる愛唱歌について <ul style="list-style-type: none"> (1) 地域で歌い継がれる愛唱歌のもつ力をどう考えるか <ul style="list-style-type: none"> ① 愛唱歌は、地域に想いを寄せる、想いを馳せる要素のひとつになり得るか ② 小中学校における地域で歌い継がれてきた歌の扱いは ③ 定住人口の確保に多少なりとも寄与するとは考えられないか ④ 地区指定のふるさと納税制度に好影響を及ぼすとは考えられないか
17	吉 川 秋 利 (会派のぞみ)	<ul style="list-style-type: none"> 1 道路行政について <ul style="list-style-type: none"> (1) 飯田下伊那地域の広域道路計画の現状はどのようになっているか (2) 道路整備における問題点について <ul style="list-style-type: none"> ① 都市計画との整合性は ② 財源確保の考え方は (3) 今後どのように進めていくか 2 産業振興と人材育成の拠点整備について <ul style="list-style-type: none"> (1) 航空機システム研究講座の概要と今後の方向性は (2) コンソーシアムの現状と飯田市の関わり方は (3) 「航空産業支援サテライト」の開設と「(連携先)産業技術総合研究所」の目指すものは

③ 平成29年飯田市議会第3回定例会一般質問通告表

平成29年9月13,14日

No.	氏名	項目・要旨
1	吉川 秋利 (会派のぞみ)	1 議会選出監査委員について (1) 地方自治法が改正されたが、地方自治体にとって地方自治法とはどのようなものか (2) 行政から見た議会選出監査委員のメリットは (3) 議員の立場での監査委員は不要と考えるがどうか 2 コミュニティスクールについて (1) 小中連携・一貫教育については、どのように進展しているか、またどのような課題があるか (2) 小中連携・一貫教育とICT教育については、どのように連携していくのか、またICT教育の進捗状況は (3) このような教育方針と連携したコミュニティスクールの目指すものは
2	竹村 圭史 (会派のぞみ)	1 公共施設マネジメント基本方針における小中学校の建物維持の考え方について (1) 公共施設マネジメント基本方針における小中学校の建物維持の考え方は ① 建設以降30年を経過した校舎がほとんどの中で、旧耐震基準に該当する校舎については耐震化工事を実施してきたが、長寿命化を視野に入れた工事を実施したか。その場合、どのくらいの耐用年数の延命を考えたか (2) 従来の対応で浮き彫りとなった課題は何か。また、その要因をどのように考えているか (3) 今後予防保全の考え方を進めていくにあたり、課題となる点は何か (4) 市内28校の小中学校の校舎における屋根・外壁・給排水設備の状況はどのようになっているか (5) その中で、最優先に対応しなければならないものは何か (6) 学校現場からはトイレの洋式化を早期に望む声が上がっているが、給水設備と合わせ小中学校を対応するのにどのくらいの期間を要すると想定しているか (7) 今後の小中学校の建物維持をどのように考えていくか 2 社会福祉施設の防火対策の推進について (1) 夜間の就寝を伴う施設の防火対策の把握状況は (2) 施設管理者の防火意識をどのように受け止めているか (3) 市民から、施設が安心・安全に利用できるかという問い合わせはあるか (4) 防火意識を更に向上させるための取り組みは何か必要と考えるか (5) 市民の安心・安全のため、防火対策を推進している施設を情報発信することを考えてはどうか
3	原 和 世 (会派みらい)	1 政策決定に関わる庁議の議事録公開に関して (1) 庁議議事録公開の実情と課題について ① 市長は地方行政を進める上で、住民自治と知る権利及び情報公開についてどのように考えるか ② 市政経営の基本方針及び重要政策を協議し、また執行機関の総合調整を行う会議として飯田市庁議規程が有るが、どのように運用されているか ③ 今年度から庁議議事録公開を進めているようだが、その運用の基本的な考え方をどのように整理しているか ④ 市長はこれからの成熟した住民自治に向けて、政策決定プロセス公開のあり方をどのように考えるか 2 道路・河川の維持および改良における戦略的思考に関して

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	原 和 世	<p>(1) 市民生活の利便性と安全安心の地域づくりのための維持・補修に関する財政面から見た課題について</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 各地区から提出される地区要望に関して、市民要望件数と予算措置の推移、および事業の進め方はどのようなか ② 地区要望に対する予算措置について、財政課では部局別枠配分についてどのような観点で措置しているか ③ リニア新幹線に関連する道路等整備事業と在来の道路整備事業が予算上混同し、予算確保の中で在来の整備事業が進まない恐れはないか ④ 目的税である都市計画税の使途に関し、予算決算において明示することが必要ではないか <p>(2) 維持補修・除雪など市民生活に直結する事業に関し、建設事業者からみた課題について</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 公共事業が減少する中、市内建設事業の実情はどうか ② 今後の道路・河川整備事業に対する不安要素としてはどのように捉えているか ③ 建設事業者の経営実態に関し市は現状把握しているか ④ 事業者選定のための総合評価方式の導入と課題は ⑤ 維持補修事業を維持していくための課題と方向性は
4	岡 田 倫 英 (会派のぞみ)	<p>1 地域防災を担う人材の育成について</p> <p>(1) 避難所を開設・運営する人材の育成をどのように進めるか</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 自主防災リーダーの育成人数について目標を立ててはどうか ② 「南信州いいむす21」の仕組みを応用して、飯田市独自のリーダー養成講習を計画してはどうか <p>(2) 子どもたちの防災教育をどのように進めるか</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 子どもたちの防災教育をメニュー化してはどうか ② 教育委員会としてどのように対応するか <p>2 シールド振興について</p> <p>(1) 飯田市が「シールドのブランド力」を持つ上で、課題は何か</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 飯田市としてシールド特区(果実酒特区)の認定を受けてはどうか ② 製造から販売・消費までの一貫した戦略は <p>3 リニア時代に向けた地域資源の活用について</p> <p>(1) 集団生活体験ができる地域資源を活用し、特色ある体験教育を推進してはどうか</p> <p>(2) 保存・活用のため一定の規範が必要と思うがどうか</p> <p>(3) 大平宿の保存継承・活用は</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 大平宿について伝統的建造物群保存地区、国指定有形文化財の指定を考えてはどうか ② 大平憲章の精神に則った保存継承の考えは
5	木 下 徳 康 (会派のぞみ)	<p>1 災害時における受援体制、支援体制について</p> <p>(1) 災害相互応援協定について</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 現在、協定している自治体、民間等の内容と数は ② 通常時の協定している自治体、民間等との活動は ③ 協定を相互のみでなく、グループ化して関係を密にする考えは ④ 飯田市が必要とされる災害支援の可能性は <p>(2) 市の受援体制は</p> <p>(3) 戸倉山東側尾根付近の林野火災について</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 消火活動の経過は ② 現地指揮本部とはどのような組織でおこなったか

No.	氏名	項目・要旨
	木下 徳康	<ul style="list-style-type: none"> ③ 消防防災航空隊と自衛隊のヘリコプターの消火能力の差に対する認識は ④ 自衛隊の災害派遣を要請する判断基準は 2 (仮称)天龍峡大橋に関して <ul style="list-style-type: none"> (1) (仮称)天龍峡大橋添架歩廊について <ul style="list-style-type: none"> ① 設置に至った経緯は ② 床窓を設置してはどうか
6	福澤 克憲 (市民パワー)	1 飯田市高齢者福祉計画・介護保険事業計画の進捗状況について <ul style="list-style-type: none"> (1) 第6期事業計画の進捗状況は <ul style="list-style-type: none"> ① 地域包括ケアシステムの構築の状況は <ul style="list-style-type: none"> ア 介護予防と日常生活支援の総合的な進捗状況は イ 高齢者の住まいの安定対策は <ul style="list-style-type: none"> i 老人福祉施設(養護老人ホーム、軽費老人ホーム)、サービス付き高齢者向け住宅等の整備状況は ウ 地域で安心して暮らせる支援体制は <ul style="list-style-type: none"> i 地域包括支援センターの事業推進状況、相談件数は ② 介護サービスの充実と質の確保対策は <ul style="list-style-type: none"> ア 介護保険施設(介護老人福祉施設、介護老人保健施設)の整備状況と床数は イ 地域密着型サービス施設の整備状況と結果は (2) 第7期事業計画策定に向けての方向性は <ul style="list-style-type: none"> ① 計画策定のためのアンケート調査等から推測される今後の課題は ② 介護職場の人材確保・育成は ③ 公共サービスの今後の方向性は 2 「飯田版！上質な子育て環境」づくりについて <ul style="list-style-type: none"> (1) 現在の取組状況は <ul style="list-style-type: none"> ① 公立保育所で取り組む「信州やまほいく」の認定とは ② 飯田市版「地域と連携した自然型保育」は、どのような保育を想定しているか (2) 今後の方向性は <ul style="list-style-type: none"> ① 私立保育園・幼稚園・認定こども園等への展開は ② 良質な保育を行うための施設整備は
7	古川 仁 (日本共産党)	1 飯田市の介護保険事業について <ul style="list-style-type: none"> (1) 介護予防・日常生活支援総合事業(新しい総合事業)について <ul style="list-style-type: none"> ① 昨年4月からの進捗状況はどうか (2) 介護職員の状況はどうか <ul style="list-style-type: none"> ① 各事業所の介護職員の状況はどうか ② 介護職員不足が懸念されるが、市はどう考えどう対応するか 2 中学校の職場体験実施について <ul style="list-style-type: none"> (1) 実施状況はどうか (2) 自衛隊の体験状況はどうか
8	湊 猛 (会派のぞみ)	1 飯田市観光振興ビジョンについて <ul style="list-style-type: none"> (1) 新交通網を見据えた、観光振興ビジョン推進におけるロードマップの取り組みについて <ul style="list-style-type: none"> ① 地域資源の魅力向上策の進め方は ② 観光プログラム開発と受入れ態勢整備の状況は ③ 情報発信と人材育成に関しての取り組み状況は

No.	氏名	項目・要旨
	湊 猛	<p>④ 今後マネジメントする推進体制の構築とDMOの確立に向けた取り組みは</p> <p>(2) 飯田市の観光誘客推進について</p> <p>① まちなか誘客事業の取り組み状況は</p> <p>② 天龍峡活性化事業の取り組み状況は</p> <p>③ 遠山郷観光戦略プログラムの現状は</p>
9	小林 真一 (公明党)	<p>1 飯田市における健康寿命を延ばす方策について</p> <p>(1) 若年層への健康意識向上のための啓発について</p> <p>① 全体、世代別の特定健診受診率はどうか</p> <p>② がん検診の周知の状況は</p> <p>2 防災、災害時の対応について</p> <p>(1) 避難所の運営について</p> <p>① 女性、子どもへの配慮はどうか</p> <p>② 高齢者、障がい者への配慮はどうか</p> <p>③ 避難所のトイレの設置状況は</p> <p>④ 災害時の空き家活用は</p>
10	井 坪 隆 (会派みらい)	<p>1 リニアによるまちづくり戦略について</p> <p>(1) 「駅周辺整備」と、リニアを活かしたまちづくりの戦略とを、どう結びつけるか</p> <p>(2) 拠点集約連携型都市構造で位置付けている「中心拠点」に対する違和感を持つ意見があるが、市長はどう説明していくか</p> <p>(3) 交流人口の拡大に資する施設整備として重要であるとしているコンベンションセンターは、まちづくりにおいてどのような位置付けと考えているか</p> <p>(4) リニアを「長野県の南の玄関口」とする一方、「メガリージョンの地下鉄」としているが、本市におけるまちづくりにおいては、どのように捉えているか</p> <p>(5) JR(グループ)に、地域振興への協力を求めることは考えられないか</p> <p>2 市長の考える、地域自治・地域運営組織の在り方について</p> <p>(1) 「飯田市の地域運営の取組みは、真の地方創生を成し得る全国のモデル」(市長の年頭所感)としているが、地域自治組織をも含めて、そのように言い切れるか</p> <p>(2) 新時代に向けた地域経営の仕組みにおいては、「コミュニティーの質の向上を図ることが大事」(市長の年頭所感)と述べているが、そのための市役所の役割、地域(住民)の役割をどう考えるか</p>
11	湯澤 啓次 (会派のぞみ)	<p>1 リニア関連事業に伴う代替地確保について</p> <p>(1) 「住民に寄り添う」との市長の方針と、影響を受ける市民の感じ方とのギャップをどのように埋め、信頼関係を構築するか</p> <p>(2) 代替地の3つの斡旋方法について</p> <p>① 用地買収時期に対する市の認識は</p> <p>② 代替地登録制度の登録状況、情報開示の進め方は</p> <p>③ 宅建業者との連携とは具体的に何か</p> <p>④ 新規造成・確保(市道新規建設)は買収時期に間に合うか</p> <p>ア 進捗状況、今後のスケジュール、提供時期は</p> <p>(3) 移転を余儀なくされる住民の立場で考え、市は責任を持ち代替地斡旋事業を最優先に進める覚悟は</p> <p>2 学童保育の抱える諸課題について</p> <p>(1) 児童センター、児童クラブなどの学童保育をどのように評価しているか</p> <p>(2) 学童保育の現状及び課題認識は</p> <p>① 閉所時間30分延長の実態は</p> <p>② 平成31年度定員970人体制に向け見えてきた課題は</p>

No.	氏名	項目・要旨
	湯澤啓次	<p>(3) 課題克服に向けての市の考えは</p> <p>① 有効な職員確保策は</p> <p>② 運営委員会に任せ過ぎているとの意見もあるが、見直しは</p> <p>③ 飯田コミュニティースクールとの連携は</p> <p>(4) 学童保育専門の部署を設置する考えは</p> <p>3 全国的に注目を集める自然保育について</p> <p>(1) 自然保育に対する市の考えは</p> <p>(2) 県が進める「信州やまほいく」信州型自然保育認定制度への対応について</p> <p>① 認定制度の概要及び市の対応は</p> <p>② 期待される効果は</p> <p>③ 普及推進に向けた具体的取り組み、今後のスケジュールは</p>
12	清水優一郎 (会派のぞみ)	<p>1 中山間地域の現状について</p> <p>(1) 人口や産業の現状は</p> <p>(2) 魅力や役割をどう捉えているか</p> <p>(3) 飯田市における中山間地域の将来像は</p> <p>2 三遠南信道を生かした中山間地域の観光振興、地域振興について</p> <p>(1) 三遠南信道の概要は</p> <p>(2) 工事の進捗状況は</p> <p>(3) 各インターチェンジの周辺整備計画は</p> <p>(4) (仮称)天龍峡大橋の開通に伴う、天龍峡周辺の観光振興計画は</p> <p>(5) 中山間地域の振興と天龍峡周辺の観光振興のための拠点となる「道の駅」の整備はどうか</p>
13	永井一英 (公明党)	<p>1 中小企業・小規模事業者への支援策について</p> <p>(1) 「2017年問題」と指摘される中小企業の事業承継が問題になっていると聞く。飯田市内の中小企業・小規模事業者の状況は</p> <p>① 国は既に対策に乗り出していると聞く。どのようなものか。また、県や市の独自の取り組みは</p> <p>② 商工会議所の取り組みと行政との役割分担は</p> <p>③ 「ものづくりのまち」東京都墨田区が、全製造業への訪問面接調査を実施した上で、関係支援機関と連携し、企業のものづくり資産を承継する仕組みを作るなどのサポートを行っている。市はどうか</p> <p>(2) 製造業における販路開拓への支援と行政の役割は</p> <p>① 海外展示商談会への出展に関する支援と成果は</p> <p>② 海外の企業から飯田市内の中小企業・小規模事業者へアプローチしてもらうことは考えられるか。また、行政の支援は</p> <p>(3) 国や県そして市が進めようとする様々な支援策を、一つひとつの中小企業・小規模事業者にまで周知する上での課題は何か</p> <p>① 中小企業・小規模事業者が、国や県が直接あるいは市や関係機関を通して実施する補助金・助成金制度その他の支援策を利用する場合の手続きは、ワンストップで行うことができるか</p>
14	山崎昌伸 (会派のぞみ)	<p>1 「リニア・三遠南信道」の時代に向けて、この地域をどのように発信するか</p> <p>(1) ブランディングとシティプロモーションをどう加速化するか</p> <p>① 「IIDAブランド推進課」が果たすべき役割は何か</p> <p>② 交流人口増加に向けての考え方は</p> <p>(2) シティプロモーションにおいて「信州ブランド」をどう活かすか</p> <p>① 海外も含め「信州ブランド」の浸透度をどう捉えているか</p> <p>② 「南信州ブランド」の浸透度はどうか</p>

No.	氏名	項目・要旨
	山崎昌伸	<p>③ 当地域の発信に「信州ブランド」を最大限に活かすべきと考えるがどうか</p> <p>(3) リニア開通後、JR飯田線をどう活かすか</p> <p>① リニアとローカル線の対比をどう際立たせるか</p>
15	塚平一成 (会派のぞみ)	<p>1 文化芸術のまちなみや史跡の利活用について</p> <p>(1) 人形劇文化の溢れるまちづくりについて</p> <p>① 「人形劇のまち」としての浸透度は</p> <p>ア かつて市長より「人形劇フェスタが『知る人ぞ知る祭典』の趣を呈してきた」という事であったが、その後の取り組みと経過は</p> <p>イ 来飯者より「日常のまちなみに人形劇文化を感じない」との意見が多いとみるが、どのように捉えるか</p> <p>ウ 2018年のAVIAMA総会及び世界人形劇フェスティバル開催を見据え、まちづくりへの課題としての取り組みは</p> <p>② 日常に人形劇文化がどう根付いているか</p> <p>ア 市内学校での人形劇をとおしての活動の現状は</p> <p>イ 人形劇関連施設の活用状況は</p> <p>ウ 人形劇のまちとして、フェスタをクライマックスとした年間の運営取り組みをどのように考えていくか</p> <p>(2) 飯田古墳群の文化的活用について</p> <p>① 地域文化資源としての位置づけは</p> <p>ア 国史跡指定を契機に古墳群の文化的位置づけをどのように考えているか</p> <p>イ 歴史上、学術上価値は高いが、市民に魅力を感じさせる仕掛けをどのように考えるか</p> <p>ウ 市外へ情報発信して来ていただく体制をどう考えるか</p> <p>② 各地区の古墳文化保存継承活動への協働体制は</p> <p>ア 宣伝材料・モデルコース作成等の各地区での取り組みをどのように把握し、協働体制をとっているか</p> <p>イ 古墳及び周辺空間の更なる整備体制が必要と考えるが、どのように捉えるか</p> <p>ウ 上記整備事業に対する各地区への支援体制をどのように考えているか</p>
16	木下容子 (市民パワー)	<p>1 行財政改革の推進について</p> <p>(1) 飯田市行財政改革大綱における、平成28年度までの改革プランの実績はどうか</p> <p>① これまでの「行財政改革大綱」は平成28年度で一つの区切りを迎えたが、取り組みの成果はどうか</p> <p>(2) 新たな「飯田市行財政改革大綱」に基づく実行計画について</p> <p>① 行革の4つの柱とはどのようなものか。それをどう活かすか</p> <p>② 実行計画の目玉となる「1%戦略」をどう活かすか</p> <p>③ 公共施設マネジメントの推進について現在の取り組み状況は</p> <p>(3) 「飯田市公共施設マネジメント基本方針」について</p> <p>① 「公共施設マネジメント基本方針」の基本方針1の「長寿命化の推進」には、どのような方法で対応するか</p> <p>② 施設の予防保全のために、庁内で技師を活用しての、新たな専門部署を立ち上げる考えは</p> <p>③ 公共施設マネジメントの取り組みを市民に理解してもらうための方法は</p> <p>2 読書を支える市民の活動について</p>

No.	氏名	項目・要旨
	木下容子	(1) 読書活動を支える市民の活動は、どのようなものがあるか (2) 視覚障害者のための音訳活動については、どう捉えているか (3) 機器の購入や勉強会参加への補助は、考えられないか
17	後藤 莊一 (日本共産党)	1 ごみの減量化策について (1) 焼却施設の変更にともない、プラスチック製品などの一部が燃やすごみに移行したが、燃やすごみの増加につながらないか (2) 事業系のごみが全国的に増加の傾向だが、飯田市はどうか (3) 事業系含め、特に燃やすごみの減量化策は ① 生ごみ処理に取り組んでいる自治体があるが、飯田市としても再度研究する考えはないか (4) 他市と比べ、ごみ袋の料金が高いと言われる。ごみの減量化に結びついていると思わないが、どうか (5) 2018年4月から焼却炉の排出ガスの水銀規制が開始されるようだが、市としての対応は 2 リニア中央新幹線について (1) リニア長野県駅周辺整備について ① 基本設計の開始はいつか ② 基本設計はどの段階まで設計するか ③ 事業費の概算見積もりを基本設計開始後すぐに示すべきだと考えるがどうか ④ 移転を余儀なくされる方への代替地確保の状況は ⑤ 様々な理由により、移転が困難な方にはどう対応するか (2) 地下走行区間について ① 井戸水等水資源の調査を行なっているようだが、状況は
18	新井 信一郎 (会派のぞみ)	1 学校教育環境について (1) 長野県は、「学びの改革 基本構想(平成29年3月30日県教委定例会決定)」に基づき今後の方針から、飯田市で学ぶ者の将来について ① 「学びの改革」をどう受け止めるか (2) 小・中学校の「学びの改革」は、県同様に必要ではないか ① 「学びの改革」を必要としないか ア 社会激変への対応について イ 少子化への対応は ② 新たな学習方法について ③ 学びの質・環境の充実と改善について ④ 立地の特性を活かした学校づくり・再編について 2 産業振興と人材育成の拠点整備(旧知の拠点・旧飯田工業高校跡地利用)について (1) 南信州地域振興局(長野県)は、地域未来投資促進法に基づき、南信州の地域特性を活用する8分野を示したが、市として取り組みは ① 航空宇宙関連部品産業の集積(成長ものづくり分野)について ア 信州大学との連携状況は イ MRJ等、開発事業進行を不安視する声があるが、問題はないか ② 飯田メディカル・バイオクラスターなど、メディカル・バイオ関連の知見について ア 国と県は、東京一極集中是正について地方への機能分散を計画し、飯田市に産業技術総合研究所(創薬)部門を示したが、動向は イ 産総研は、地域産業振興連携をしているが、市内企業との連携状況は

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	新 井 信 一 郎	<p>ウ 私立新潟薬科大学(新潟市)が長野県内に「長野薬学部」を設置する計画があったが、当初の予定市では不可能との見解が示されたが、その受け皿に飯田市はなれないか</p> <p>③ 南信州の気候、地理的特性などの自然環境や、豊富な日射量や森林資源など特徴ある自然環境について</p> <p>ア 現状は</p> <p>イ 財産区や個人山の多くが一部を除いて運営・運用が厳しいが、対応策はあるか</p> <p>ウ ツリークライミングや新たな森林活用に、リニア時代を見据えた世界規模のフォレストパーク等の整備は考えられないか</p> <p>3 農業・農地等について</p> <p>(1) 農地バンクの利用状況は</p> <p>① 新規就農者、認定農業者(人・農地プラン)への対応は</p> <p>② 情報の共有化はどうなっているか</p> <p>(2) 農地等であった場所に、太陽光パネルが敷設されるケースが目につくようになってきた</p> <p>① 農地・農作地や林野等から、太陽光パネル設置に移行された箇所・面積はどのくらいあるのか</p> <p>② 土地の有効活用や、自然エネルギーの利活用は非常に大切なことであるが、その一方で、河岸段丘の美しい飯田の、農ある風景にそぐわないとの意見もある。市としての今後の方向性は</p> <p>4 リニア中央新幹線長野県駅を中心とした整備事業について</p> <p>(1) リニア周辺整備デザイン会議に、学識者として、東京芸術大学美術学部建築科北川原教授を迎え入れた意図は</p> <p>(2) これまで飯田市の中心市街地再生整備には、デベロッパーや大手ゼネコンに頼ることなく、住民と市役所が一体となって小規模開発を連鎖させ地方都市再生のモデル(飯田方式)としてこれまでは事業化してきた</p> <p>① リニア駅を含め、その手法を活かすか</p> <p>② 市長は、飯田版ダボス会議が開催できる世界都市飯田をイメージしているか</p> <p>③ 「飯田らしさ」と駅機能の世界へのポテンシャル発揮の必要性をどう考えるか</p> <p>④ 世界を知り尽くしたデベロッパーやゼネコンの意見を聞いてはどうか</p> <p>⑤ 北海道ニセコ町は、外国人資本家や外国人とのパートナーシップが功を奏し、ブランディングやシティープロモーションが成功している。「小さな世界都市」を標榜する飯田市としての今後の取り組みは</p>

No.	氏名	項目・要旨
1	湯澤啓次 (会派のぞみ)	<p>1 市長の政治姿勢と予算編成方針について</p> <p>(1) 就任14年目に向けた市長の政治姿勢について</p> <p>① 10年後のリニア時代を見据え、人口減少・高齢化が顕在化する困難な時代に、市長は何を大切に市政経営を進めようとしているか</p> <p>② 総合計画「いいだ未来デザイン2028」を多様な主体とどう共有し進めていくか</p> <p>(2) 平成30年度予算編成の基本方針は</p> <p>2 持続可能な地域自治の推進について</p> <p>(1) 市長の地域自治組織に対する基本的な考えは</p> <p>(2) 地域自治組織の今後のあり方について</p> <p>① 10年が経過した地域自治組織の検証、新たな取り組みは</p> <p>② 地域コミュニティの活性化に対する考えは</p> <p>③ 地域自治を支える財源についての考えは</p> <p>3 リニア中央新幹線に関連する諸課題への取り組みについて</p> <p>(1) 関係自治体、団体等との更なる連携強化をどう図るか</p> <p>① JR東海、県、近隣市町村との更なる関係強化に市長はどう臨むか</p> <p>② リニア駅周辺整備基本設計を進める上で、地元経済界との連携、市民参画に対する市長の考えは</p> <p>(2) 影響を受ける市民にどう寄り添い、切実な要望等にどう応えていくか</p> <p>(3) 諸課題に迅速かつ有効に対応するための態勢拡充は</p> <p>4 リニア・三遠南信時代を見据えた交流・定住人口の拡大に向けた取り組みについて</p> <p>(1) 交流人口増の視点から、これからの観光振興策をどう進めていくか</p> <p>① 地域連携DMOの創設を視野に、IIDAブランド構築に向けた、市、飯田観光協会、南信州観光公社の連携をどう強化していくか</p> <p>② 天龍峡と遠山郷の二つの交流拠点を交流人口増につなげる取り組みは</p> <p>(2) 交流・定住人口増につなげる20地区「田舎へ還ろう戦略」に対する市長の本気度は</p> <p>① 各地区との共有、支援策は</p> <p>(3) 交流・定住人口増につなげる中山間地域振興は</p> <p>① 飯田市の中山間地域の現状と今後の可能性についての市長の考えは</p> <p>② 10年目を迎える飯田市民間地域振興計画の検証、評価と今後の考えは</p> <p>5 若者定住につながる産業振興の取り組みについて</p> <p>(1) 市長は若者定住の現状をどう認識、分析し、どうしようと考えているか</p> <p>(2) 若者が帰って来られる産業振興は</p> <p>① 「新たな産業振興の拠点」形成に向け、施設整備後のソフト事業をどう進めていくか</p> <p>② 戦略的な企業誘致の推進、地域産業の高付加価値化をどう進めていくか</p> <p>③ 若者定住につながる今後の農業振興策は</p> <p>④ リニア関連工事による地元経済波及効果を高めるための市の取り組みは</p> <p>6 子育て環境、健康長寿日本一を目指す取り組みについて</p> <p>(1) 飯田市の子育て環境、健康長寿の延伸に対する市長の現状認識と今後の考えは</p>

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	湯 澤 啓 次	<p>(2) 飯田市立病院を核とした地域医療の一層の充実は</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 地域医療維持のための政策、市民理解、医療スタッフの確保とケアは ② 飯田市立病院の安定経営と、市民から愛され信頼される拠点病院づくりをどう進めるか <p>(3) 人口減少・長寿時代に対応した地域包括ケアの仕組みづくりは</p> <p>7 これからの学校教育、社会教育について</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) リニア時代に向けて、どのような人材育成、教育を行いたいのか、市長の思いと教育長の考えは (2) 学校教育について <ul style="list-style-type: none"> ① 小中連携・一貫教育をどう評価し、今後どのように進めていくか ② 飯田コミュニティスクールに何を期待し、今後どのように推進するか ③ ICTを活用した教育課題への対応、成果の見える化と推進ロードマップは (3) 社会教育について <ul style="list-style-type: none"> ① 「地域振興の知の拠点」の形成をどのように進めるか ② これからの公民館に期待される役割、現状と課題に対する市長の認識と、今後の考えは <p>8 安全安心で環境に配慮した社会への取り組みについて</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 地域防災の要である消防団員確保と地域防災リーダーの養成は (2) 空き家対策を進めるための態勢強化、解体費用の補助制度の創設は (3) 市道、河川の長期的改修整備計画の策定は (4) 「ポイ捨て等防止及び環境美化を推進する市民条例」の検証と今後の対応は
2	福 沢 清 (会派みらい)	<p>1 行財政政策の推進について</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 「いいだ未来デザイン2028」に沿った年度ごとの中期財政計画が必要ではないか (2) 「いいだ未来デザイン2028」の検証のため、市の評価をどの様に行っていくか (3) 「公共施設等総合管理計画」を推進するのに、縮減の目標値はどうか <p>2 リニア中央新幹線整備事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) リニア事業に係る庁内体制はどうか (2) リニア事業を推進するにあたってJR東海とそれぞれの関係地区との協定が必要ではないか (3) まちづくりの観点から、中心市街地とリニア長野県駅とのアクセスをどう整備していくか <p>3 産業振興政策について</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 飯田市の産業構造の実態把握は (2) 飯田下伊那労働白書の策定は (3) リニア時代の農業、とりわけこの地域特有の「小農(家族の暮らしを中心に地域に根差して営まれる農業のこと)」の振興策は (4) 技能労働者の育成が急がれるが対策は (5) 公契約条例の制定は <p>4 福祉政策の充実について</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 「飯田市地域福祉計画」における地域福祉コーディネーターの役割は重要と考えるがどうか (2) 認知症の方や高齢者に対する見守り体制の確立は <p>5 まちづくりの推進について</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 今後の空き家対策は (2) 地域おこし協力隊の状況は

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	福 沢 清	<p>(3) 地域経営アドバイザーの活用は</p> <p>(4) 多文化共生、小さな世界都市を目指す取り組みは</p> <p>6 教育環境の整備について</p> <p>(1) 学校施設の老朽化が進んでいるが対策は</p> <p>(2) スポーツ環境とりわけ競技場の整備は</p> <p>(3) 教職員の負担軽減の施策は</p> <p>① 学校給食費を市で徴収することはどうか</p> <p>② 部活動へのかかわりはどうか</p> <p>7 防災について</p> <p>(1) 業務継続計画の策定は</p> <p>8 南信州広域連合と飯田市の在り方について</p> <p>(1) スポーツ施設、コンベンションセンターの整備構想をどう進めるか</p> <p>(2) 飯田文化会館の建て替えを目指す市長公約との関係は</p>
3	村 松 まり子 (公 明 党)	<p>1 SDGs(持続可能な開発目標)の理念と飯田市の進める市政について</p> <p>(1) SDGs(持続可能な開発目標)の推進についての考えは</p> <p>(2) 「いいだ未来デザイン2028」のスタート元年をどう評価するか</p> <p>(3) 地方創生関連の事業推進の検証は</p> <p>(4) 30年度予算編成の基本方針と重点的な取り組みは何か</p> <p>2 リニア中央新幹線の取り組みについて</p> <p>(1) リニア本体工事関連について</p> <p>① 明かり区間(上郷北条地区・座光寺地区)の進捗状況について</p> <p>② トンネル区間の進捗状況について</p> <p>ア 建設発生土の発生箇所(松川坑口・黒田非常口・土曾川非常口)は</p> <p>イ 建設発生土置き場は</p> <p>③ 環境影響関連について</p> <p>ア 水資源調査の進捗状況は</p> <p>(2) 社会基盤整備関連について</p> <p>① リニア駅周辺整備について、「リニア駅周辺整備基本計画」策定後どのように進めていくのか</p> <p>② JR飯田線乗換新駅設置に向けて今後どのように進めていくか</p> <p>③ 国道153号線飯田北改良及び座光寺上郷道路の進捗状況は</p> <p>④ 座光寺SICの進捗状況は</p> <p>(3) 戦略的地域づくりの関連は</p> <p>① リニア未来都市ブランディング事業の取り組み状況は</p> <p>② 今後の進め方において、「いいだ未来デザイン2028」とリニア推進ロードマップとの関係は</p> <p>3 多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくりについて</p> <p>(1) 産業振興と人材育成の拠点整備を着実に推進し、産業振興に寄与させる取り組みは</p> <p>(2) 南信州・飯田産業センター機能強化についての市の考えは</p> <p>(3) 中小・小規模事業者の事業承継の取り組みは</p> <p>(4) 大筋合意した環太平洋連携協定(TPP11)の影響、今後の取り組みについて</p> <p>① この度のTPP11の大筋合意による飯田市への影響はどうか</p> <p>② 飯田市の農業の生産性の向上と競争力の強化の取り組みは</p> <p>③ 農業振興センターを核とし、農地を維持し産業経済として成り立つ姿からバックキャストした農業のあるべき姿を農業振興ビジョンにどう描くか</p>

No.	氏名	項目・要旨
	村松 まり子	<p>4 包み支え合う「社会的包容力」の構築を目指して</p> <p>(1) 高齢化社会への取り組みは</p> <p>① 本市の高齢者の現状及び2025年までの推移の見通しと、介護従事者の確保の現状及び見通しはどうか</p> <p>② 在宅医療・介護連携の取り組み状況と今後の取り組み方針は</p> <p>(2) 子どもを産み育てやすい環境の充実について</p> <p>① 妊娠・出産・子育てを切れ目なく支援する体制の取り組み状況は</p> <p>② 人口の将来展望を直視するとき、また、地方創生のねらいを考えあわせた時、国の幼児教育・保育料の無償化の動向に先立って第2子以降の保育料の無料化を図るべきと考えるがどうか</p> <p>(3) 医療の充実と心と体の健康づくりについて</p> <p>① 飯田市立病院経営について</p> <p>ア 「地域医療構想」策定に伴う飯田市立病院の対応は</p> <p>イ 今までの「現飯田市立病院中期計画」の進捗状況は</p> <p>ウ 30年度診療報酬改定の影響は</p> <p>② 児童・生徒へのがん教育の取り組み状況は</p> <p>③ 保険者によるレセプト・健診データ等を活用したデータヘルス計画の推進状況は</p> <p>④ ヘルスケアポイントの付与等のインセンティブ措置の導入など、個人の予防・健康づくりの推進の考えは</p> <p>(4) 地域が共生する社会の構築について</p> <p>① 地域の自立性主体性を発揮させるため、パワーアップ交付金の見直しを前向きに検討すべきと考えるがどうか</p> <p>② 人口減少、少子高齢化が進行する中において、自治会による公園の管理、街路樹の落ち葉清掃などのあり方、家庭ごみの出し方、など先を見通して考えてはどうか</p> <p>5 持続可能な教育環境の整備について</p> <p>(1) 中学校教師の部活動における長時間労働について</p> <p>① 本市の中学校部活動における長時間労働の実態とその管理はどのように行われているか</p> <p>② 昨年6月文部科学省からの「学校現場における業務の適正化に向けて」等の通知に対する市の検討内容と対策は</p> <p>(2) プログラミング教育について</p> <p>① 本市の現状とこれからの取り組みは</p> <p>② 今後のプログラミング教育を進めるうえでの環境の整備は</p> <p>6 ワーク・ライフ・バランスの更なる推進について</p> <p>(1) ワーク・ライフ・バランスの具体的な取り組みは</p> <p>(2) 今後、地域を挙げてワーク・ライフ・バランスをどのように推進していくか</p>
4	木下 容子 (市民パワー)	<p>1 リニア中央新幹線開通を見据えたまちづくりについて</p> <p>(1) 伊那谷自治体会議で協議されたリニア駅と伊那谷各地とを結ぶ移動の考え方について</p> <p>① 来訪者の視点、居住者の視点から見た移動方法が示されたが具体的にはどのようなものか。また、今後の方向性は</p> <p>② JR飯田線乗換新駅設置計画について</p> <p>③ 知事から駅周辺にヘリポート設置に対する問いかけがあったと聞くが、市にその考えはあるか</p> <p>(2) 県が首都圏や中京圏で企業への調査を実施したが、その結果をどう考えるか</p> <p>2 人づくりの教育政策について</p> <p>(1) 小規模特認校指定について</p>

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	木 下 容 子	<ul style="list-style-type: none"> ① 今回、上村小学校を指定した「小規模特認校」とはどんな制度でどのような目的で行うか ② 具体的な取り組み方法は (2) 平和教育の推進について <ul style="list-style-type: none"> ① 平和教育の必要性をどう考えるか ② 満蒙開拓平和記念館を活用した平和教育の現状はどうか (3) スマートフォン、携帯電話などが子どもたちにもたらす影響と対策について 3 保健・医療・介護・福祉の充実について <ul style="list-style-type: none"> (1) 「医療介護総合確保推進法」の現状について <ul style="list-style-type: none"> ① 2014年に「医療介護総合確保推進法」が施行され、様々な施策が動き出したが、飯田市における取り組みの現状はどうか ② 超高齢化を迎えるこれからの社会では、医療と介護の連携を強化することが重要と考えるがどうか ③ 市立病院に設置された地域包括ケア病棟の目的と具体的な役割はどうか
5	後 藤 庄 一 (日本共産党)	<ul style="list-style-type: none"> 1 市長の政治姿勢と新年度予算編成について <ul style="list-style-type: none"> (1) 市長の政治姿勢について <ul style="list-style-type: none"> ① 市政運営全般が日本国憲法の精神を生かしたものになっているか <ul style="list-style-type: none"> ア 特に福祉や納税の窓口では、市民の困難に向き合った対応ができているか ② 地域自治組織の運営をさらに支える考えは <ul style="list-style-type: none"> ア 自治組織をさらに発展させるため、また役員の活動をしやすくするため、まちづくり専任の職員を自治振興センターに配置してはどうか ③ 「地域福祉計画」を実行して行くための市長の決意は <ul style="list-style-type: none"> ア NPOなどの団体等への支援をどう考えるか (2) 平成30年度の予算編成について <ul style="list-style-type: none"> ① 市財政について、今後人口減少に対応した財政にすべきと考えるがどうか ② リニア中央新幹線計画について <ul style="list-style-type: none"> ア JR東海に対する市民の不安や不満に市としてどう対応するか イ リニア駅周辺整備にあたって必要なものから整備する考えは ③ 暮らして良かったと実感できる福祉・医療行政について <ul style="list-style-type: none"> ア 低所得者への日常生活支援策として「灯油代」の助成をしたらどうか イ 来年度から介護保険事業第7期が始まるが、介護保険料に対する考えは、また、在宅介護に対する市としての考えは ④ 子どもたちの健全な発達のための学校教育について <ul style="list-style-type: none"> ア 「ICT」活用は子どもの成長にどう影響するか、また、教師の負担は ⑤ 地域内で循環する経済の構築について <ul style="list-style-type: none"> ア 「中小企業振興基本条例(仮称)」を制定し、域内に多数を占める中小零細企業の振興策を図ってはどうか イ 「公契約条例」の制定が緊急の課題と捉えているが、状況は ウ 地域農業の現状とこれからの見通しは <ul style="list-style-type: none"> i 中小農家や兼業農家への支援策をどう考えているか ii 遊休農地対策は、景観保全や農業の持つ多面的な機能などをどう働かせていくかが重要であると考えているが、市としての考えは

No.	氏名	項目・要旨
1	福澤克憲 (市民パワー)	<p>1 働くことを軸とする安心社会の実現に向けて</p> <p>(1) 非正規雇用労働者の現状と課題をどう考えるか</p> <p>(2) 飯田市の生活保護世帯の動向は</p> <p>(3) 生活困窮者自立支援制度について</p> <p>① 生活就労支援センター「まいさぼ飯田」の運営状況は</p> <p>② 任意事業の取り組みは</p> <p>③ 関係部署の連携は</p> <p>(4) 事業者・労働者への支援について</p> <p>① 労働基準法、労働安全衛生法、育児・介護休業法、女性活躍推進法等に基づく事業所への支援は</p> <p>② ワーク・ライフ・バランス実現に向けての取り組みは</p>
2	岡田倫英 (会派のぞみ)	<p>1 ポストAVIAMA、人形劇のまちづくりについて</p> <p>(1) AVIAMA総会に向けた取り組みは</p> <p>① 準備の状況は</p> <p>② 総会を機に、飯田市が“アジアのハブ都市”を担っていく考えはどうか</p> <p>③ 総会参加者に特に伝えたいポイントは何か</p> <p>ア 飯田市は“人形劇のまち・飯田”にどのように関わってきたか</p> <p>(2) 人形劇のまちづくりを今後どのように支えていくか</p> <p>① いいだ人形劇フェスタのサポートスタッフの充足状況はどうか</p> <p>ア スタッフ確保のために市としてさらに関われないか</p> <p>② 「工作室」の環境改善を図る考えはどうか</p> <p>2 太陽光パネルの使用済み対策について</p> <p>(1) 市内における太陽光パネルの状況は</p> <p>① 設置の状況は</p> <p>② パネルの機能停止後、リサイクルや廃棄にかかる市の対応は</p> <p>③ 非住宅用パネルの放置予防策を講じてはどうか</p> <p>ア “空き太陽光パネル”を防ぐため、責任所在の追跡ができる仕組みはどうか</p>
3	古川仁 (日本共産党)	<p>1 飯田市の個人番号の扱いについて</p> <p>(1) 飯田市役所の職員の個人番号をどのように扱っているか</p> <p>(2) 各事業所宛ての「住民税特別徴収額の決定通知書」について</p> <p>① 個人番号を記載した経緯は</p> <p>② 漏洩する原因と考えるがどうか</p> <p>2 飯田市の教育について</p> <p>(1) ふるさと飯田を思う心を育てるためにどのような教育をしているか</p> <p>① コミュニティスクールとの関係は</p> <p>② ふるさとを思う心を育むのに地域の行事や伝統芸能・お祭りが効果的と考えるがどうか</p>
4	木下徳康 (会派のぞみ)	<p>1 公共施設マネジメントについて</p> <p>(1) 進捗状況について</p> <p>① 公共施設マネジメント基本方針の意義と進め方は</p> <p>② 現在の進捗(検討)状況はどうか</p> <p>(2) 公共施設マネジメントと「いいだ未来デザイン2028」との関連性をどう考えるか</p>

No.	氏名	項目・要旨
	木下徳康	2 ホール施設とコンベンション機能について (1) 市長が考えるコンベンション機能とは何か (2) 市内の3つのホール施設についての検討状況はどうか (3) ホール施設とコンベンション機能をどう考えるか (4) 今後のスケジュールは
5	小林真一 (公明党)	1 高齢者の交通手段について (1) 高齢者ドライバーの現状についてどう考えるか ① 市内の高齢者ドライバーの事故の状況は ② 高齢者の運転免許証自主返納への取り組みは ③ 交通安全と公共交通の各所管での連携は (2) 中心市街地以外の公共交通の現状をどう考えるか ① 高齢者の公共交通利用の実態把握は 2 市民バス、乗合タクシーの運行の現状について (1) 運行ルート、運行時間の現状はどうか ① 運行ルート、運行時間の見直しは、どのような手順とサイクルで行っているか ② 高齢者などの住民ニーズをどのように反映しているのか (2) 5年、10年先の三遠南信自動車道、リニア中央新幹線等の交通網の発達を見据えたあり方はどうか ① 観光客を見据えた市民バスの利用は考えられないか ② AIやICTなどを活用した新しい公共交通の研究を始める必要があると思うがどうか
6	塚平一成 (会派のぞみ)	1 認知症理解への啓発活動について (1) 昨年より飯田で開催されている「RUN伴 ^{とも} 」について ① 開催の意義と成果をどのように捉えているか ② 市としてはどのように関わっているか ③ 今後の協働体制についてどう考えるか (2) 認知症サポーター制度について ① 市内のサポーターおよびキャラバンメイトの現状は ② 新オレンジプランで、サポーターの数値目標が変更がされたが、市としてはどう考えるか ③ 今後はサポーターの養成だけでなく、活躍にこれまで以上に重点をおくとしているが、どのように取り組むか (3) 認知症理解推進の観点から、次期高齢者福祉計画・介護保険事業計画にどのように反映させ取り組むか 2 婚活支援体制について (1) 現在の状況について ① 市内の生涯未婚率の状況はどうか ② 現状をどのように分析するか (2) 婚活促進業務について ① 結婚相談業務の現状は ② 活動の効果はどのように捉えるか ③ 今後、県の婚活サポーター等との連携の考えは (3) 今後、都市間交流の中でも取り組む考えはどうか
7	熊谷泰人 (会派のぞみ)	1 入札制度について (1) 工事及び業務委託の29年度に実施した一般競争入札と指名競争入札の内訳は (2) 指名競争入札について

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	熊 谷 泰 人	<ul style="list-style-type: none"> ① 実施する理由は ② 応札状況は ③ 工事及び業務委託の指名基準は <ul style="list-style-type: none"> ア 同種、同程度規模の業務でも指名業者が異なるのは何故か ④ 業務委託では全て指名競争入札となっているが、その理由は ⑤ 今後見直す考えは (3) 29年度に実施した入札における落札率(予定価格に対する落札額の割合)について <ul style="list-style-type: none"> ① 工種別工事(土木、建築、上下水道等)の状況は ② 工種によって大きな差が生じる要因はなにか ③ 工事、業務委託の予定価格積算の基準は (4) 最低制限価格の設定について <ul style="list-style-type: none"> ① 業務委託の設定根拠は ② 今後見直す考えは (5) 電子入札導入の考えは (6) 「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」の目的、基本原則に照らし現状をどう考えるか 2 大型複合アリーナの建設について <ul style="list-style-type: none"> (1) 広域連合で県に要望しているが状況をどう把握しているか (2) 市として規模・建設場所等具体的な検討はされているか (3) 今後の対応は
8	山 崎 昌 伸 (会派のぞみ)	<ul style="list-style-type: none"> 1 安心・安全のまちづくりについて <ul style="list-style-type: none"> (1) ミサイル発射に伴うJアラート(全国瞬時警報システム)の緊急情報への対処法は (2) 東海地震の予知は、ほぼ不可能と発表されたが、地域防災計画への影響は (3) 地震への備えにおいて、公助の果たすべき役割は <ul style="list-style-type: none"> ① 緊急時の情報伝達手段の現状と今後の方向性は ② 地震への備えについて、市民への啓発活動は十分になされているか
9	清 水 優 一 郎 (会派のぞみ)	<ul style="list-style-type: none"> 1 農業振興について <ul style="list-style-type: none"> (1) 農業の現状について <ul style="list-style-type: none"> ① 今年の農畜産物の生産、販売等の状況は ② 産業としての農業の変遷は ③ 農業の特徴は ④ 現状をどう捉えているか (2) 農業振興の方向性について <ul style="list-style-type: none"> ① 農業振興の目的は ② 農業振興の柱は (3) 農業振興のための具体的な取り組み状況は <ul style="list-style-type: none"> ① 農業者への支援は ② ワーキングホリデー、農家民泊は ③ 鳥獣被害は ④ 市田柿のブランディングは ⑤ 農地の有効利用は (4) 農業振興センターの役割と今後の取り組みは